

CSR レポート2018

報告期間：2017年4月1日～2018年3月31日

揖斐電電子（北京）有限公司

揖斐電電子（北京）有限公司

北京経済技術開発区栄昌東街15号
 邮编：100176
 TEL：010-6788-2288
 www.ibibj.com.cn

目次

董事長挨拶----- **P3**

IBIDEN グループの CSR 経営----- **P4-P5**

内部統制----- **P6-P7**

人材経営----- **P8-P14**

環境経営----- **P15-P19**

社会貢献----- **P20-21**

会社概要----- **P22**



董事長挨拶

より良い社会、また持続的な成長を実現するため、CSR を事業活動とより深く統合し、更なるレベルアップへ向け、積極的に推進していきます。



積極的に環境改善を行います。

当社は地球温暖化の防止のための CO2 削減、リサイクル率の向上などに加え、たゆみなく環境負荷を改善したプロセスで製造した製品を提供し、省エネ、排出削減活動を実施し、クリーン生産を柱にした生産活動を行うことで、地球環境保全の貢献に努めてまいります。

真のマネジメントと全員経営の実現を図ります。

100 周年を機にまとめ直されたイビデンウェイの精神に従い、私たち一人ひとりが会社の持続的な発展のため、活動してきました。継続して活動する中でチームワークもよくなり、より高い目標に向かい、大きな成果へとつながります。そこに今年度は「クロスセクション・チームワーク活動」を推し進めて、本当のマネジメントと全員経営を実現していきます。

グローバル CSR 経営を体系的に取り組みます。

イビデングループはイビデンウェイ、イビデングループ行動憲章に基づき、事業を通じて社会と信頼関係を構築できるように、経営の信頼性と透明性を高める活動に取り組み、ルール遵守のための企業風土の醸成の真の CSR 経営の実践を図り、永続的に存在し社会の発展に貢献することをめざす。

河島浩二

IBIDENWAYーイビデンの企業理念ー

イビデンの長い歴史における、「幾多の困難を全員で乗り越え、イビデンを存続させてきた力」と「近年の飛躍的な成長を実現させた英知と活力」。これを、世代や国籍を超えて受け継がれるように体系化したものが「イビデンウェイ」です。

2012 年 11 月の創立 100 周年を機に、よりシンプルで、世界中のイビデングループ従業員誰にでも理解できるよう、このイビデンウェイを刷新しました。



企業理念 (MISSION)
私たちは人と地球環境を大切にし、革新的な技術で、豊かな社会の発展に貢献します。

共同行動精神 (SPIRIT)
誠実：Trust through Integrity
和“Wa”：Teamwork & Synergy
積極性：Challenge with Passion
IBI-TECHNO 革新：IBI-TECHNO innovation

CSR経営構想と推進体制

近年企業をとりまくステークホルダーのCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）に対する関心の高まりから、企業でのCSR活動、ひいてはサプライチェーン全体でのCSR活動が本格化しています。

イビデングループは、企業理念体系「イビデンウェイ」のもと、お客さまの満足を獲得し、またステークホルダーとのよりよい関係を構築していくためには、お取引先さまとのより一層の協力、連携が不可欠であると認識しています。ともにCSR活動を推進することが、企業価値の向上、サプライチェーン全体の持続的な成長と発展につながるものと考えています。

【CSR 推進体制】

当社は、CSR 活動の推進部門を経営企画部に設置しています。また各部門に推進責任者を任命し、所管部署におけるコンプライアンスの推進などの CSR 活動、コンプライアンス実践の監督、所属メンバーに対する教育の実施などを行っています。このほか、リスクマネジメント推進委員会の運営、社会貢献活動の企画と実施、EICC（電子業界行動規範：Electric Industry Code of Conduct）など国際規範に沿って進化しながら、CSR マネジメントの強化を図っています。

また CSR マネジメントの強化には、社員一人ひとりの CSR 意識の向上が不可欠であると考え、CSR の重要性を浸透させるためにも継続的な啓蒙教育を実施しています。

内部統制

持続的な成長による企業価値の向上、コーポレート・ガバナンスを実現するため、そのベースとなる『業務の適正を確保する仕組みづくり』（内部統制）が経営の重要課題として認識し、グループ全体において積極的に取り組んでいます。

IBIDENグループはコーポレート・ガバナンスを行う目的が「コンプライアンス及びリスクマネジメント推進活動」を積極的に展開することにより内部統制機能を強化し、社会からの信頼に応える透明な企業統治体制を構築することです。また、IBIDENグループにおける「内部統制」とは、グループ会社の健全経営のために、全社員が自発自主で会社のコーポレート・ガバナンスの仕組みや体制を確立することにより業務の有効性及び効率性を高め、事業活動に関わる法令や規範を守りながら、資産の保全や信頼性がある正しい決算報告書、財務報告の作成が可能になり、日常の業務を的確に行うことであります。

【コンプライアンス推進活動】

当社は「コンプライアンス推進委員会」を設置し、総経理を委員長として、コンプライアンス意識を全社員に広めます。委員会ではコンプライアンス会社活動の推進状況をまとめて報告、活動の評価審査を実施、方針・計画を決めて、そしてそれに基づいて活動を展開します。コンプライアンス推進委員会は、毎年 2 回開催し、2017 年度は 6 月と 12 月に開催しました。

コンプライアンス重点項目管理：一層顧客信頼度と満足度をアップ、及びイビデン北京工場
のコンプライアンス経営を確保するために、2017 年度に「児童工の利用禁止」、「監獄労働または強制的な労働の利用禁止」、「不法の雇用差別禁止」、「暴力禁止」、「出勤時間の記録必ず真実で信頼できる」、「現地法律で規定された最低の賃金基準より低くならない」、「労働者の安全と健康を保障する」、「消防リスクを有効的にコントロールする」、「有毒有害廃棄物の不法排出禁止」、「あらゆる形の商業賄賂禁止」等十項目のコンプライアンス重点項目を重点的に管理しました。根源から問題の発生を途絶、そして定期的に現場で検査、確認します。同時に定期的な自己検査や社員インタビュー等の形で、社員のコンプライアンス意識をアップします。

コンプライアンス教育：コンプライアンス活動を推進するために、継続的に社員の意識を高いレベルに維持することが不可欠です。そこで、社員のコンプライアンス意識を向上するために、各課はコンプライアンス個別活動を実施し、毎月業務の遂行に係る法律法規要求と社内規程制度、日常業務に関するCSR活動及び社員行動基準について持続的な教育や訓練を行っています。2017 年度、ISO27001情報安全管理体系を構築しました。ビジネス秘密の管理はレベルが一層上がりました。そして、全員に対して情報安全関係知識の教育を実施し、社員の情報安全意識を強化してもらいました。2017年度サプライヤーに審査プロセスを完備しました。そしてキーサプライヤーに対して労働者人権ビジネス道德審査活動を展開しました。同時に新規サプライヤーに対して我会社のCSR指導方針を伝達します。

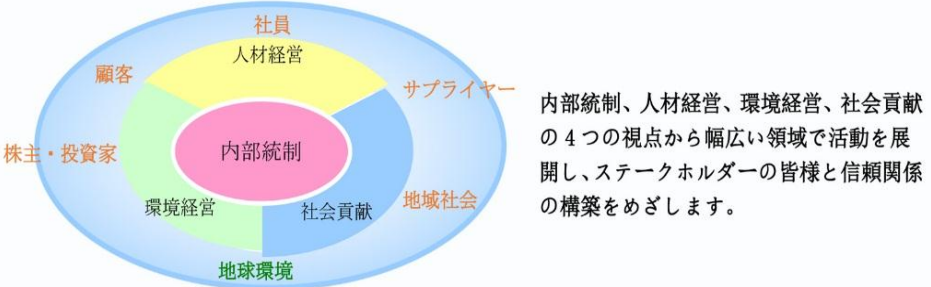
【行動憲章】

第 1 条：法令および倫理の遵守 各国、各地域の法令および倫理を遵守し、あらゆる形態の腐敗防止に取り組み、オープン で公正な企業活動を通じて国際社会から信頼される会社をめざします。また、個人情報・顧客情報ははじめとする各種情報の保護・管理を徹底します。
第 2 条：ステークホルダーとともに発展する会社 ステークホルダーとともに発展していく会社として、経営の透明性を高め、コミュニケーションを通じた信頼関係を構築します。また、良き企業市民として、地域に根ざした社会 貢献活動に積極的に取り組みます。
第 3 条：お客さまへの感動の提供 お客さまに感動を提供するため、社会の将来にわたる要求・動向を正しく理解し、イビテクノを進化させることで、お客さまの満足が最大になる安心・安全な商品の創造やサービスを行います。
第 4 条：グローバル化に対応した経営 グローバル化に対応した連結経営を推進するとともに、企業活動を行ううえで、人権を含む各種の国際規範はもとより、各国、各地域の文化・慣習を尊重します。
第 5 条：地球環境との共存 全ての事業活動で地球環境との共存をめざし、環境と経営を両立する技術の開発と普及に努めるとともに、省エネ・省資源活動を積極的に進め、環境に優しい商品・サービスを提供します。
第 6 条：魅力的で活力にあふれる会社 魅力的で活力にあふれる会社をめざして、公平公正な評価が行われる人事制度と安全で働きやすい環境を柱に、多様性を尊重しあい、一人ひとりの能力が最大限に発揮できる、社員にとって働きがいのある企業風土をつくります。

【CSR 方針】

責任ある誠実な行動が持続可能な事業につながるという認識を深め、バランスよく経済的項目・環境的項目・社会的項目の責任を果たし、すべてのステークホルダーと共生することによって企業価値を向上させます。

<CSR 経営の概念図>



コンプライアンス遵守評価：業務効率をアップするために、2017 年度に品質管理体系、環境管理体系、エネルギー管理体系、職業健康安全管理体系を IBMS 管理体系に統合しました。2017 年度から、コンプライアンス遵守の評価活動は統合した IBMS 管理体系のコンプライアンス評価規部門の法律法令の遵守状況を評価し、不具合が発見されたらその都度是正し、「法律遵守レベルの向上を図っています。

内外部監査：経営企画部は内部監査を執行、そして窓口として外部監査を対応します。内部監査では社員との面談や帳票類の査閲により内部統制の強化を図っています。内部監査の結果は本社監査室にも報告し、グループ全体の監査体制の実効性を強化しています。外部監査では全社でコンプライアンス、財務、資産等あらゆる分野で監査を実施し、実際の業務上の不具合を発見すると、社内において是正措置を講じて、弛まず改善を行います。

情報安全管理体系：情報安全管理体系の構築は企業自身の情報安全管理レベルの更なる向上に役立ち、経営活動のリスクを低減できるし、信頼できる制御対策を採用してお客様の各ご要望にも応じさせます。2017年度12月ISO27001国際認証を取得しました。認証を取得するために、会社の情報安全管理に存在している各問題点が解決されている中に会社の情報安全管理を一層完備してもらいました。

【リスクマネジメント推進活動】

基本方針

経営を取り巻く各種リスクを分析し、事業の円滑な運営に重大な影響を及ぼす経営資源の損失を的確に対処することにより、株主、顧客および役職員等ステークホルダーの安全と経営資源の損失低減および再発の防止を図って、そして会社経営の継続を可能にします。

当社では当該基本方針及びリスク管理規程に基づき、半期毎にリスク管理目標を設定し、リスク項目毎に責任部署を設置し、リスクマネジメント推進活動を積極的に展開しています。また、定期的にリスクアセスメントを行い、経営に重大な被害をもたらすテーマを重要テーマとして、リスクを低減し、持続で安定的な会社経営を確保しています。2017 年度では持続的に新顧客を開拓、そして積極的に生産キャパを拡大します。中高層管理者教育を強化、リーダシップ及び管理能力のアップを推進します。積極的に廃棄物処理や省エネ、排出削減の技術を上昇し、新設備を導入し、政府の環境保護の要求を答えます。今年度に SA8000 体系を導入して初回の内部審査を展開したが、重大問題は発見されていません。今後、会社の内部管理の方向と標的の明確性を強化、穏やかにリスクマネジメントのレベルと方策の品質を向上します。

人材経営

当社は「人間本位・コンプライアンス管理」の人的資源管理理念の指導で、人的資源管理体系と制度の最適化を求め続け、社員のスキルと管理能力の育成を強化、社員の会社管理の参与を促進、社員の勤務時間外の生活を豊富、持続的に社員の満足度、達成感とモチベーションを高める活動の展開を通して社員を企業と共に発展させることを図ります。

社員の成長を助力

当社は社員の成長と発展に強く関心を持っています。社員に腕が振るえる仕事環境とチャレンジがある仕事機会を提供し、社員の持続的なイノベーションとディスカバリーを激励します。そしてディスカバリーで社員は何かミスがあっても恐れ、一切の代価も惜しまないです。社員の技能と管理能力を持続的に向上するために、「チャレンジする勇氣がある、現地現物、全員参加」と言う3つの行動精神を指導原則として、「ダブルタワー式」の人材育成発展モデルで、人材戦略方針を巡って、社員のスキルや業務能力の強化また人材チーム構成の最適化に重点を置きます。異なる職場・チーム・能力・年齢の社員に対して、ニーズに合わせる専門技能と総合力関係する教育を実施、社員の成長に堅固なサポートを提供します。

2017年度には内部社員に教育を12369延べ人数、49673.5時間、162項目実施しました。その中に主に管理類教育、品質技術類教育、職業化教育等教育を含めています。各層級の社員のニーズに合わせる教育課程体系を整備し、教育形式と課程内容を豊富し、社員の業務能力と管理レベルのアップをもらいました。



図 1：品質技術 FMEA 教育



図 2：品質技術 QC 手法教育



図 3：品質技術 DOE 教育



図 4：品質技術管理体系の三位一体教育

ヒューマンケア活動の展開

当社は社員の成長と発展を注目する同時に社員の意見とアドバイスも非常に重視しています。定期的に座談会を開催、社寮でインタビューの形で社員の考えていることを了解します。社員の身心の健康及び調和の文化雰囲気の構築の面でも、積極的に社員の歓迎を受けられる豊富多彩な文化娯楽体育イベントを催し、多角度多方面で企画、社員の熱意を燃え、社員の活力を盛り上げます。今年は趣味運動会、世界読書日活動、IEB ボイスネット大会、忘年会等形式が多様、内容が豊富なイベントを次々と主催しました。社員の平日に緊張した作業でたまったストレスを解消しただけではなくて、チームの団結力と社員の帰属感の促進ももらいました。



図 13：製造現場ワーカ座談会



図 14：社寮インタビュー



図 15：忘年会



図 16：IEB ボイスネット大会



図 17：世界読書日活動



図 18：趣味運動会



図 5：管理類ビジネススピーチ教育



図 6：管理類 現場管理者教育



図 7：職業化構造化思考表現教育



図 8：職業化感情ストレス管理教育

現場社員と技術者は我工場が一番肝心な人材であります。持続的に業務技能を上昇させるために、当社は経験をまとめ、構想を革新、会社級の第3回の「職場訓練、技能競合」活動を展開しました。業務技術を鍛えただけではなくて、模範も樹立し、社員の自ら向上する意識も呼び起こしました。技能競技大会は練習から試合まで3ヶ月間経ています。各部門は異なる職場、工程によって、3項目の共通試合と21項目の専門試合を展開しました。参加人数は600人余りで、24項目の業務模範を選出しました。



図 9：職場訓練チップローラー実装試合



図 10：職場訓練電気配線試合



図 11：職場訓練外観検査試合



図 12：職場訓練授賞式

【TPM 推進活動】

TPM 人材教育活動：現場作業ロスを減少、現場作業効率を向上、会社の競争力を強化するために、班組長以上の管理者に対して現場作業ロスの改善手法に関して教育を実施しました。課長級以上の管理者に対して標準化の作業効率改善手法の教育を実施しました。

活動紹介：



「作業効率化（7大ロス）」教育



「標準化に面する作業効率の改善」教育



「作業効率化改善—流動化」教育



「運搬ロス改善手法現場」教育

TPM 指導活動：会社トップ指導者や TPM 活動専門家を誘って、定期的に TPM 各基幹部門の管理者や社員に TPM 活動に関して指導し、持続的に TPM 活動レベルを向上します。

活動紹介：



総経理現場指導会



TPM 活動専門講師指導会

TPM 改善活動：全員参加で、作業効率向上、作業ロス削減、設備機能向上、歩留まり高め、コスト削減、CT 短縮等を巡って、会社内部の自主改善活動を展開します。

活動紹介：



メッキ工程自主保全小グループ改善会



金メッキ工程管理者改善会



作業ロス項目自主改善



治工具自掛り修理

TPM 交流活動：定期的に会社内部 TPM 自慢大会、年度 TPM 表彰大会を開催すること及び集团会社の年度世界 TPM 交流大会に参加することを通して、絶えず TPM 活動中の優秀事例、管理経験をまとめ、そして横展開を行います。全員の TPM 改善視野を広げて、会社全体の改善レベルを向上します。

活動事例：



2017 年 8 月自慢大会



2017 年 10 月自慢大会

識を一層高めて、会社に濃厚な安全生産雰囲気を作り上げています。

「生命至上、安全発展」は今年の安全月テーマで、このテーマを貫徹するために、日常業務の重点は新入社員の三級安全教育、現場安全監督の強化、定期的な作業場所環境検測、危険工程の事故対応緊急訓練にしています。そして、豐富多彩な安全活動の展開を通じて、安全生産の理念を社員のところに深く染みって、いくつの措置で安全生産目標の達成を図ります。

当社は 2017 年度に百万労働時間の労災発生率が 0.27 で、病因での欠勤率が 0.35 で、社員約 661 人健康体検に参加しました。

当社は前年度の実績を踏まえて 2018 年度職業安全衛生目標の各指標を作成しました：

1. 労災発生頻率（百万労働時間）0
2. 労災嚴重等級（百万労働時間）0
3. 火災ヒヤリハット発生回数 0
4. 病因での欠勤率（累計）<0.35

以下は会社の一部分の安全環境活動：



安全月キックオフ大会



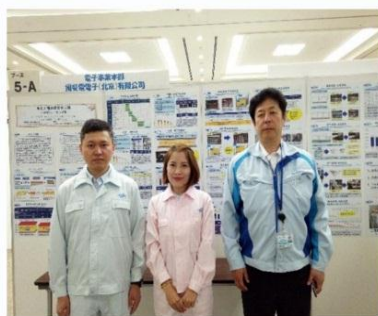
安全環境知識クイズ



2018 年度安全員教育



2017 年度会社 TPM 大会



2017 年度 TPM ワールド大会

2017 年 TPM 改善活動の展開を通して、5S 活動で、製造部はエッチングライン、メッキライン等湿工程を重点として改善を展開しました。各部門の努力で、M-SAP 新工芸の安定的な量産を実現しました。そして、グループ会社の一番高い社長賞を獲得しました。品質不良改善、作業ロス改善、コスト改善等活動の深い展開で、提案を 346 個募集しました。職場の合併、プロセスの最適化、アプリの自主開発等活動を通じて、作業効率をアップしました。安全環境の改善で、危険廃棄物の減量、省エネ、安全リスクパトロール等活動を重点的に展開して、汚泥の排出量を 63.2%削減しました。そして北京市イノベーションワークショップの榮譽ある称号を受賞しました。

【安全健康活動】

労働安全衛生基本方針

私達は「IBIDENWAY」に基づいて、全員参加の労働安全衛生活動を通して、会社の経営に参加している全員の生命に脅威になる要因及び健康に不良影響になる要素を最低限に低減することを基本方針として、労働安全衛生と会社経営活動の調和を図ります。

安全衛生環境委員会：

より良く安全衛生と環境業務を推進するために、会社は安全衛生環境委員会を成立して、月 1 回月度安全環境管理指標の完成状況と重点項目の推進状況を総括し、安全環境課題を検討、安全環境計画を作成、重大安全環境事項を決定、安全環境の重点業務を配置します。総経理は委員長として、各部門の責任者は委員会委員として会議に出席します。安全衛生環境委員会は当社安全環境関係の最高級の会議であります。

安全月活动：

毎年 6 月と 7 月は当社の安全活動月であります。この期間中、当社は安全知識クイズ、安全員教育、安全リスク洗出、応急预案演習、優秀安全員評定、優秀安全チーム評定、トップ層リーダ安全パトロール等一連の安全活動を展開して、約 1200 名の社員は活動に参加しました。安全知識クイズ活動は累計 500 人余り参加して、安全生産知識の宣伝と普及を実現しました。安全員教育は 6 回実施し、兼任安全員を 143 人育成しました。安全員の業務能力をアップし、改めて安全員の責任を強調しました。優秀安全チームの評定活動で、10 個の否決項目を設置し、一票否決制を実行して、一層現場の安全管理を強化しました。上述の活動を通して、社員の安全生産認

環境経営

基本方針

「IBIDENWAY」に基づいて、全員参加の環境負荷低減活動を通して、会社の経営活動が地球環境に及ぼした影響を削減、次代企業に伝えられる役割を果たし、地球環境との共存を図ります。

【環境活動】

企業の社会責任を果たす、そして中国現地政府の「積極的に環境に排出を減少する」という要求を答えるために、当社は環境に排出の減少にもっと力を込めて、積極的に環境負荷の低減活動を推進します。

環境負荷の低減活動を通じて、エネルギーの有効的な利用を高めます。当社は持続的に工芸技術のアップグレード、MSAP 生産工芸の導入、原材料使用量の削減、エネルギー消耗の低減活動を推進します。廃棄物の減量化、汚泥乾燥設備の導入、廃棄物の資源化等改善で廃棄物の産出量を低減します。2017 年度は 2016 年度と比べると、薬液の使用量は 2110 トン減少、19%削減しました。エネルギーの消耗は 2870 トン標準石炭減少、17%削減しました。水使用量は 67400 トン減少、6.7%削減しました。危険廃棄物は 460 トン減少、12%削減しました。二酸化炭素の排出量は 5890 トン減少、5.9%削減しました。北京市政府の大気清潔計画を答えるために、当社は力を入れて大気排出を削減、4 台の高効率低窒素ボイラを導入しました。集中燃焼を分散燃焼に変更、燃焼温度を 1200℃から 800℃に下げ、排気の排出温度を 130℃から 65℃に下げ、窒素酸化物の排出量を 3.8 トン/年減少しました。

持続的に環境のコンプライアンス管理を推進、環境リスクを低減します。中国法律法規はますます厳しくなっている、政府は環境に対する管理が一層強化しているなど外部環境が変化している背景で、当社は環境関係法律法規及びお客様等ステークホルダーの要求に対してもコンプライアンス管理を行いました。リスク評価規制を構築、定期的に環境関係法律法規に基づいてコンプライアンスを評価、識別された高いリスクに対策を出して改善を推進し、会社のコンプライアンス運営を確保します。法規要求によると、企業は環境情報を公示する義務があるため、当社は情報を公示するプラットフォームを整備して、環境情報のリアルタイム公示を実現しました。

製品の有害化学物質管理を整備、顧客の満足度を高めます。サプライヤーグリーン購買調査及び評価の実施を通して、早速的に上流サプライヤーが提供した原材料に含有している有害物質情報を把握し、仕入品の有害物質の適当性を評価、生産した製品が法律法規及びお客様管理要求に合うことを確保します。そしてサプライヤーの環境管理体系の構築と運行状況を調査及び審査し、サプライヤーを監督して、サプライヤーの環境管理体系と有害物質管理規制の構築と整備を促進します。

【省エネ改善事例】

省エネ改善は基盤改善と技術改善という 2 つの面に入れて展開しています。

(1) 2017 年度基盤改善で以下の活動を展開しました：

- 第 1：季節や室外の温度、湿度によって、現場関係エリアの温度と湿度を調整、エネルギーの消耗を最大限に削減します；
- 第 2：生産設備に新風の供給を調整、公共エリアを減少、工程の作業エリアを適当に調整します；
- 第 3：オフィスエリアでエアコンを時間管理でエネルギーのロスを削減します。

(2) 技術改善で以下の活動を展開しました：

- 第 1：高効率低窒素ボイラを更新します；
- 第 2：高効率省エネモーターを更新します；
- 第 3：第 2 工場で汚泥乾燥設備を導入、汚泥処理費用を削減、利益を増やします；

- 第4：第2工場食堂で排風機のインバータを改善します；
- 第5：第2工場の新風機にインバータを増設、新風機の運行頻度を低減します；
- 第6：11月15日から3月15日まで冬季自由冷却システムを起動、冷機及び冷機の電源変圧器を停止します。供電局に変圧器を1つに四半期の停止を申請、供电の固定電力費を減少、コストを低減します。
- 第7：第1工場で一般排気を合併、電気の使用を節約します。

【重点改善項目 1ー低窒素高効率ボイラの更新改造】

背景：

北京市大気汚染物の新排気基準は2017年4月1日から正式的に実施します。新基準はボイラの排出に対する要求がもっと厳しくなっていますが、NOXの排出量（新設ボイラを対象として）が30mg/m3以下に低減すると要求されています。使っているボイラは80mg/m3以下という基準しかに適えません。

目的：

コンプライアンス及び北京での持続的な発展を確保するために、当社は真剣に検討した結果、最高基準に従って実施することになりました。新排出基準に適うボイラを調査、実際の運行負荷によって、我工場の要求に相応しい新ボイラを更新します。

第1工場（北エリア）：

連続で何年間の省エネ改善活動で、北エリアでボイラは1台だけで完全に生産要求に満足できますので、既存のボイラを解体や停止して、1台の新ボイラに変更しました

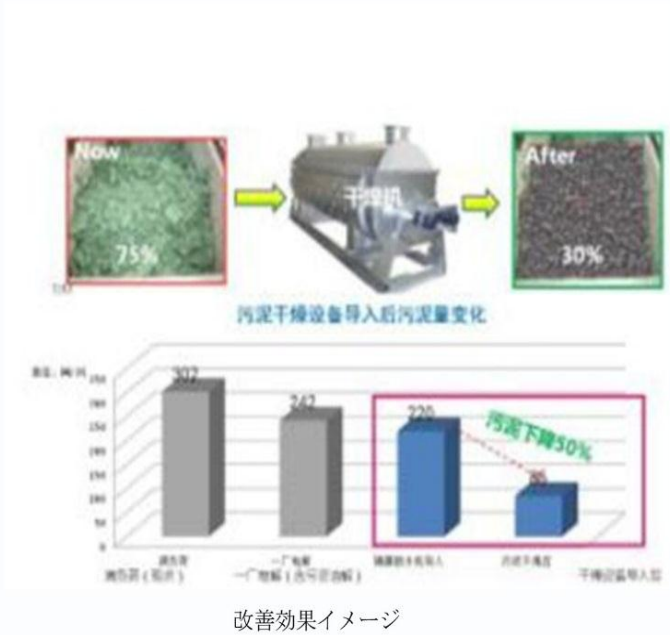


第2工場（南エリア）：

連続で何年間の省エネ改善活動で、南エリアでボイラは3台で完全に生産要求に満足できますので、既存のボイラを解体や停止して、3台の新ボイラに変更しました。

目的：

汚泥の産出量を低減、会社の長期発展に土台を築きます。積極的に産出した汚泥を対応、デリバリコストを低減、不安定性を減少します。



【重点改善項目 2ー立ち遅れるエネルギー多消費モーターの更新】

背景：

「中華人民共和国節約能源法」によると、第十七項で国家が明文に淘汰したエネルギー消費の設備や生産工藝の使用を禁止しています。現在、一部分の立ち遅れている淘汰したモーターがやはり存在しています。エネルギーの消費が多いので、「中小型三相非同期モーターエネルギー消費限定値及びエネルギー消費ランク」（GB18613-2012）基準にエネルギー消費限定値の要求に満足できません。

目的：

コンプライアンス運行は企業経営の土台だと認識しましたので、法律要求に従って早速的に淘汰したモーターのスペックを棚卸し、規定された期間中に全て交換して、合格で検収します。



【重点改善項目 3ー第2工場汚泥乾燥設備の導入】

背景：

水処理の汚泥は危険廃棄物として産出量が多い、企業経営のリスクになっています；危険廃棄物の処理コストがますます高くなっています、一方、外部処理に不安定な要素が存在しています。

【環境負荷関連データ】

(1) 2009-2017 年 CO2 排出状況



(2) 2009-2017 年水道水、再生水使用状況



(3) 2009-2017 年排水量状況



(4) 2009-2017 年廃棄物産出状況



(5) 大気検測結果排気状況

排出場所	検測項目	単位	北京基準	自主管理基準	平均值	最大値
スクラパー	硫酸霧	(mg/m³)	5	4.5	0.59	1.99
	塩化水素	(mg/m³)	30	27	1.31	3.39
	シアン化水素	(mg/m³)	0.50	0.45	0.11	0.18
脱臭タワー	アンモニア	(mg/m³)	30	27	0.84	1.01
	硫化水素	(mg/m³)	5	4.5	0.10	0.16
一般排風	粉塵	(mg/m³)	20	18	2.32	7.2
	トルエン	(mg/m³)	25	23	0.16	0.44
	非メタン炭化水素	(mg/m³)	20	18	2.62	15.1

社会貢献

2017 年当社は以下 4 つの社会貢献活動を展開しました。

地球環境保護活動



2017 年 4 月 9 日に当社社員及び家族約 200 人はイビデン第 2 回工場エリアでの植樹活動に参加しました。活動の展開は社会責任を果たしただけではなくて、工場の環境も美化しました。

助学活動



2017 年 11 月 13 日に王貴權部長は当社愛心代表 6 名を引き連れて河北省承德県一間房小学校に行つて、ディーゼル発電機及び文房具を寄付しました。学校の教師と学生が長く困られた頻繁な停電問題を解決しました。

地域貢献-ダンス大会、バドミントン活動



2017 年 10 月 13 日に隊長陽妍さんはメンバーを 10 名率いて、北京市経済技術開発区が開催した「亦佳人」体操ダンス大会に参加しました。陽妍さん達は舞台上で情熱的な応援ダンスを出演して、イビデン北京女性社員の青春活力をアピールしました。

会社概要

会社名：	揖斐電電子（北京）有限公司
	IBIDEN Electronics(Beijing) Co., Ltd.
所在地：	100176
	北京經濟技術開發区
	荣昌東街 15 号
TEL：	010-67882288
FAX：	010-67872807
HTTP：	www.ibibj.com.cn
設立：	2000 年 12 月 25 日
企業性質：	日本独資
母公司：	イビデン株式会社（IBIDEN CO.,LTD.）
主要製品：	高密度多層プリント配線板
投資総額：	USD268, 000, 000-
資本金：	USD94, 900, 000-
董事長：	河島浩二(MR. Kawashima Koji)
總經理：	袁 本鎮(MR. Yuan Benzhen)
社員数：	1, 400 名

2018 年 3 月 31 日末現在



揖斐電電子（北京）有限公司
IBIDEN Electronics (Beijing) CO., LTD
郵便番号 100176 北京市經濟技術開發区荣昌東街 15 号
TEL：010-6788-2288
www.ibibj.com.cn